

今月のことば

～保育のビタミン～



子どもは、あなたのコピーです

佐々木 哲生

もし、日頃あなたがどのような保育をしているかを知りたいと思ったら、私はあなたが受け持っているクラスの子どもたちを集めて、こんなふう呼びかけます。「さあ、みなさん。これから保育園（幼稚園・こども園）ごっこをしましょう！」と。

子どもたちは、まるで乾いた砂漠の砂が水を吸い込むかのように、受け持ちの先生の口調から態度、物の見方や考え方、価値観まで、その全てを模倣していきます。例えば、物を両方の手で丁寧に渡す先生のクラスの子どもたちは、同じように両手で物を受け取ります。また「おはようございます」と挨拶すると、おおむね「おはようございます」と返してくれます。その多くを無意識の内に吸収しているのです。

子どもと関わる保育者の影響力が、いかに

大きいかがということが知られますが、ここで問題なのは、子どもたちはどちらかといえば、良いところは適当にカットしても、悪いところはしっかりと、それも残さずに写し取ってしまう…。いわば恐るべきコピー機能を持っているという点です。しかも、この機能は自動的に稼働するようです。

ですから、あなたが日頃何気なく口にしていう言葉も、特に変な言葉ほどしっかりと覚えていたりします。しかも、自分自身では気付いていないようなさまざまな事柄（所作・口調など）の全てを、子どもたちは日々の関わりの中で、無意識の内にコピーしていきます。

今のあなたを振り返ってみて、自分の所作や口調、その他あれこれをまるごと子どもたちにコピーされても…。大丈夫ですか？